

大会名 Competition	第69回秋田県高校総体 女子決勝
NO, M-3	Year Month Day Time 2023 年 6 月 6 日 12 : 15
場 所 Place	能代市総合体育館



秋田県高等学校体育連盟  
バスケットボール専門部

チームA		チームB										
秋田中央	<table border="1"> <tr><td>18 1st</td><td>13</td></tr> <tr><td>19 2nd</td><td>14</td></tr> <tr><td>22 3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>16 4th</td><td>21</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	18 1st	13	19 2nd	14	22 3rd	19	16 4th	21	OT		湯沢翔北
18 1st	13											
19 2nd	14											
22 3rd	19											
16 4th	21											
OT												
75 ○		67 ●										

Crew Chief  
佐藤 匠

Umpire 1  
久米 克也

Umpire 2  
谷地 温

テーブルオフィシャル: Table officials  
能代高校女子バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4		佐川 菜 柚		-	-	-	-	-	4	✓	田口 青 遼	CAP	18	0	7	4	2
5	×	千田 穂		21	0	8	5	1	5	×	奈良 心 海		16	3	3	1	0
6		佐々木 理 子		-	-	-	-	-	6	✓	伊藤 愛 菜		2	0	1	0	0
7	×	三浦 華 心		17	4	1	3	1	7	×	森屋 かりん		6	2	0	0	0
8		鈴木 美 羽		-	-	-	-	-	8	×	坂本 萌 依		2	0	1	0	5
9	×	佐藤 心 亜		13	0	5	3	1	9	✓	佐藤 楓 果		11	1	4	0	2
10	×	目黒 結 子		20	3	4	3	3	10	✓	黒沢 莉 香		0	0	0	0	0
11	×	野呂田 凪		4	0	2	0	3	11	✓	佐藤 結 奈		2	0	1	0	1
12		淡路 眞 生		-	-	-	-	-	12	×	山本 亜 季		5	1	1	0	5
13		遠間 莉 愛		-	-	-	-	-	13		佐々木 絵芽央		-	-	-	-	-
14		後藤 凜 香		-	-	-	-	-	14	×	近藤 愛 莉		3	0	1	1	5
15		土谷 愛 美		-	-	-	-	-	15	✓	佐藤 晶 那		2	0	1	0	1
16		奈良 璃 音		-	-	-	-	-	16		阿部 未 鈴		-	-	-	-	-
									17	✓	紀本 心 菜		0	0	0	0	1
									18	✓	柿崎 愛 泉		0	0	0	0	1
									19		鈴木 葉 奈		-	-	-	-	-
									20		宮野 想 来		-	-	-	-	-
									21	✓	武田 知 花		0	0	0	0	0
コーチ		門 間 義 範							コーチ		樋 渡 真 樹						
アコーチ		加賀谷 充 希							アコーチ		齋 藤 良 樹						
合 計				75	7	20	14	9	合 計				67	7	20	6	23

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P\* イントシュート 2P:2P\* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

女子決勝は1月の県新人大会を制した秋田中央と、12連覇のかかる湯沢翔北の対戦となった。序盤は両チームとも硬いディフェンスで相手に簡単なシュートを許さず、どちらもフィールドゴールを決めることができずに最初の3分が経過。湯沢翔北は小刻みなメンバーチェンジを行い、豊富な運動量で主導権を握ろうとするが、秋田中央は#7三浦が巧みなアシストで#5千田のゴール下シュートや#10目黒の3ポイントをお膳立てし、18-13と秋田中央が先行して第1Qを終える。第2Q、湯沢翔北は#4田口がオフェンスリバウンドからシュートをねじ込み20-19と1点差に迫るが、秋田中央はすぐさま#7三浦、#10目黒が立て続けに3ポイントを沈め、再びリードを広げる。湯沢翔北も#7森屋の3ポイントで食い下がるが、硬いディフェンスで相手の攻撃を封じた秋田中央が37-27と2桁のリードを奪って第2Qが終了。第3Qに入ると秋田中央は#5千田のローポストにボールを集め、そこからオフェンスを展開していく。湯沢翔北は#9佐藤楓、#5奈良が続けて3ポイントを決めて反撃のきっかけを作ろうとするが、秋田中央は#5千田が力強いポストプレイでこのクォーターだけで10得点の活躍を見せ、59-46とリードを広げて第3Qが終了。第4Q、秋田中央は#10目黒がスティールからの速攻を決め、開始2分で68-51とこの試合最大のリードを奪う。しかしタイムアウトからリズムを取り戻した湯沢翔北は、#5奈良のシュートを皮切りに粘り強いディフェンスで8-0のランを作り、残り4分で再び点差を8点まで縮める。嫌な流れになりかけた秋田中央だが、#7三浦がスティールからすぐにボールをブッシュして#9佐藤のゴール下をアシスト、湯沢翔北の反撃ムードを断つ。秋田中央は#7三浦が最後まで落ち着いてゲームをコントロールし、75-67で試合終了。11連覇中だった湯沢翔北の牙城を崩した秋田中央が、17年ぶりのインターハイ出場を決めた。